



柏崎市教育委員会スポーツ振興課 主事

## 木村 栄記

KIMURA EIKI

1992年 山形県山形市出身  
2010年 新潟産業大学への進学を機に柏崎へ

前回のリオデジャネイロ・オリンピック大会に出場した水球日本代表、志水祐介・棚村克行選手の等身大パネルが迎えてくれるのは、市立博物館のエントランスホール。「来年につなげ!オリンピック特集」として「5人のオリンピック」、「スポーツの大記録VS自然のちから」をテーマに展示が行われている。

バレーボールやバスケットボール選手とイノシシのジャンプ力を比較するコーナーや、ウサイン・ボルト選手とバットの歩幅対決などトップアスリートと動物、自然を比較する興味深い展示コーナーは子どもたちだけでなく、大人もなるほどと思うような仕掛けで楽しめる。

今回の企画、「博物館とスポーツ」を融合させた展示を担当したのが木村栄記さん。木村さんは市役所職員、ブルボンKZのコーチとしても活躍中だ。

出身は山形県山形市。小学生では水泳、中学入学と同時に水球を始め、中3の時にJOCの大会で優勝しMVPを獲得した。高校ではインターハイで惜しくも全国2位となり、あきらめきれない思いを抱えてブルボンKZを目指し柏崎へ。新潟産業大学に進学し選手として活躍、水球

に明け暮れる4年間を過ごしたという。

大学卒業後は地元に戻るつもりだったと話す木村さん。青柳勤総監督から「コーチをしてみないか」と声を掛けられ、運よく市役所での採用が決まったことから、今度は社会人として、また、ブルボンKZコーチとして、柏崎で新たなスタートを始めることになった。

社会人6年目となり木村さんにとっては変わらず仕事と水球に忙しい毎日だが、選手として過ごしてきたからこそお互いの気持ちもわかり、それをコーチの仕事に生かしていく自分なりのスタイルがあると常に前を向く。

この4月からはスポーツ振興課に異動。新型コロナウイルス感染症拡大の影響からスポーツの大会やイベントが中止になる中、初の試みとなった博物館との共催や展示は、木村さんに多くの気付きを与えてくれたという。

水球に携わってきた経験を生かして、今後も子どもたちや市民に楽しんでもらえるような企画を考え、水球のまちを盛りあげていけるよう力を尽くしていきたいと話した。



### イベント

#### 【海で水球 in 柏崎】

日時：8月1日(土) 14時～15時  
会場：柏崎港内  
入場：無料 \*直接お越しの際はTELにてご連絡ください。  
お問い合わせ：柏崎水球事業実行委員会  
TEL 41-4020  
\*悪天候によりイベントが中止になる場合があります。

### 博物館展示

#### 【5人のオリンピック】

日時：～8月23日(日)まで  
【スポーツの大記録VS自然のちから】  
日時：～8月6日(木)まで  
会場：柏崎市立博物館エントランスホール  
入場：無料  
主催：柏崎水球事業実行委員会  
共催：柏崎市教育委員会(水球のまち推進室・博物館)  
\*展示やイベントの日程については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更となる場合があります。